UPS テクニカルシート

シートNo.	分類	タイトル	機種
U-IZ-02C (1/1)	使用上の諸注意	UPS を安全にお使いいただくために	全般

弊社小容量 UPS「FREQUPS シリーズ」「PowerUPS シリーズ」を安全にお使いいただくために下記注意事項についてご確認ください。

（１）正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書（※1）を必ずお読みください。

（２）本 UPS は以下に示す人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについてはご使用になれません。このような場合、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理については特別な配慮が必要になります

a. 人命の直接かかわる医療機器などへの使用。
b. 人身の損傷にいたる可能性のある電車・エレベータなどへの使用。
c. 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。
d. 軍事用途などへの使用。
e. 原子力発電設備への使用。
f. これらに準ずる装置。

（３）本 UPS は日本国内仕様品です。日本国外で使用した場合、電圧、使用環境が異なるため故障の原因になることがあります。仕様範囲内でご使用ください。

（４）コンピュータ電源のバックアップとして UPS をご使用いただく場合、停電時にコンピュータを安全に停止させるために、UPS 管理ソフトウェア（「FREQSHIP」や「FREQSHIP-mini」など（※1））を組み合わせてご使用ください。管理ソフトウェアをご使用にならない場合、停電時に UPS のバッテリ放電後出力停止となり、コンピュータ内のデータが壊れることがあります。

（５）UPS の警報が出力された場合、必ず点検を実施ください。UPS が故障して いる場合、停電発生時にバックアップができません。なお、バッテリの劣化警報の場合は速やかにバッテリの交換を実施ください。そのまま継続して使用されますと停電発生時などにバックアップできなくなります。予防処置として UPS 警報信号（※2）を外部信号として取り出し、警報盤等に取り込むことをお奨めします。

（※1）各種取扱説明書等のダウンロード、製品情報についての詳細は弊社「三菱電機ＦＡサイト」より情報の入手が可能です。
URL：http://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/

（※2）UPS の種類によっては警報信号が出力できないものもあります。特に無人で使用する場合は警報信号が出力できる UPS をご使用ください。警報出力の仕様は下記のようになります。

機種	UPS 警報信号	出力	
		UPS 本体	ｵﾌﾟｼｮﾝ ﾘﾚｰﾎﾞｰﾄﾞ FW-ARB
FREQUPS-S	あり	ﾘﾚｰ接点出力	ﾘﾚｰ接点出力 (2.0kVA 以上対応可)
FREQUPS-V	あり	ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ出力	ﾘﾚｰ接点出力
FREQUPS-A	あり	—	ﾘﾚｰ接点出力
FREQUPS-F	なし	—	—
FREQUPS-J	なし	—	—
PowerUPS AX-P	あり	ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ出力	ﾘﾚｰ接点出力
PowerUPS AX-M	あり	—	ﾘﾚｰ接点出力

以上

改定日	計測制御製造部	三菱電機 福山製作所
2016-2-24		